

課題名：高血圧治療補助システムの医療現場導入にあたっての経済性の実証に関する研究

代表機関：株式会社CureApp

全研究開発期間：2025/7/25～2026/3/31

研究の背景・目的：高血圧治療補助アプリの医療現場導入における経済性を多角的に検証する

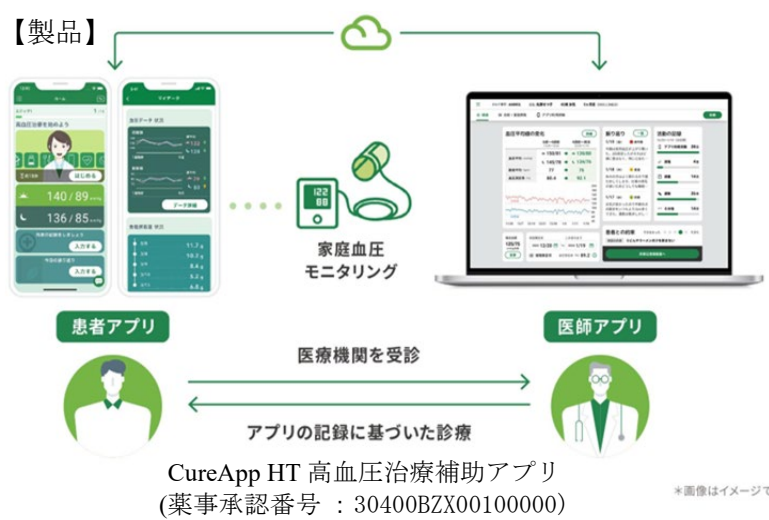
- 「CureApp HT 高血圧治療補助アプリ」は現時点で国内で最も普及した治療用SaMDである。
- SaMDの臨床現場における経済性については十分な実地調査はなされておらず、普及促進の妨げになっている。
- 多くの使用実績に基づく費用対効果を実証できれば、本製品のみならずSaMD全体の普及への貢献が期待できる。

事業達成状況および成果：高血圧治療補助アプリの導入の高い費用対効果が実証された

- SaMD導入済み医療機関151施設に対する定量調査を実施し、うち123施設へのインタビュー調査を実施した。
- 一般高血圧患者およびSaMD利用患者の計602名を対象に、離散選択実験を用いたアンケート調査を実施した。
- 診療報酬等の直接効果とロコミ等での新規患者獲得等の間接効果から、導入や運用コストを差し引いた費用対効果は年間179万円と推計され、経済的便益が最悪の条件下でも39万円と正值を維持した。

研究の将来展望：SaMDの費用対効果に関する、より経時的、実証的なエビデンスの蓄積が望まれる

概要イメージ



研究目的：SaMD導入による「費用対効果(CE)」の多角的検証

$$CE = (\text{効果} \cdot \text{便益}) - (\text{導入} \cdot \text{運用コスト})$$

医療現場の工数変化と患者の受容性を定量・定性で可視化

① 医療機関調査

- Webアンケート (N=151)
導入・指導工数の定量把握
- インタビュー (N=123)
定性的効果と運用の工夫(GTMA)

② 患者調査 (N=602)

- アンケート調査
一般 vs SaMD利用者 比較
- DCE評価手法
支払意思額(WTP)と選好の解析